

適用規格						
定 格	使用温度範囲	-55℃ ~ +85℃	保存温度範囲	-10℃ ~ +50℃ (梱包状態)		
	電 圧	AC/DC 50V	使用・保存湿度範囲	相対湿度90%以下 (結露しないこと)		
	電 流	0.5A	適合ケーブル	4S~30S t=0.3±0.05mm: 金めっき 31S以上 t=0.3±0.03mm: 金めっき		
性 能						
	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT	
構造	外観, 構造, 仕上げ	目視, 寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○	
	表示	目視にて確認する。		○	○	
電 氣 的 性 能	耐電圧	AC 150Vの電圧を1分間印加する。	せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	○	
	絶縁抵抗	DC 100Vで測定する。	500MΩ以上	○	○	
	接触抵抗	開回路電圧AC 20mV以下, 1mAで測定する。	50mΩ以下 ※FPC導体抵抗を含む。(L=8mm)	○	○	
機 械 的 性 能	耐振性	周波数 10~55Hz, 片振幅 0.75mm, 3軸方向各10サイクル試験する。	① 1μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ② 接触抵抗: 50mΩ以下 ③ 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	-	
	衝撃	加速度 981m/s <sup>2</sup> , 持続時間 6ms, 正弦半波 3方向各3回試験する。		○	-	
	繰返し動作	20回の抜き差しを行う。		○	-	
	FPC保持力	適合FPCで測定する。 (初期, FPC端末厚 t=0.30mm)		水平方向 4S~30S: 極数×0.3N以上 31S以上: 極数×0.2N以上	○	- (注)
環 境 的 性 能	塩水噴霧	温度 35±2℃, 濃度 5%の塩水噴霧中に96時間放置する。	① 接触抵抗: 100mΩ以下 ② 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。 ③ はなはだしい腐食がないこと。	○	-	
	温度サイクル	温度 -55→+15→+35→+85→+15→+35℃ 時間 30 → 2~3 → 30 → 2~3分 に5サイクル放置する。		○	-	
	定常状態の耐湿性	温度 40±2℃, 相対湿度 90~95%中に96時間放置する。		○	-	
	温湿度サイクルの耐湿性	温度 -10~+65℃, 相対湿度 90~96%中に10サイクル(240時間)放置する。		○	-	
	耐熱性	温度 85±2℃中に, 96時間放置する。		○	-	
	耐寒性	温度 -55±3℃中に, 96時間放置する。		○	-	
	二酸化硫黄 [JIS C 0090]	温度 40±2℃, 相対湿度 80±5%, 濃度 25±5ppmに, 96時間放置する。		① 接触抵抗: 100mΩ以下 ② 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。 ③ はなはだしい腐食がないこと。	○	-
	硫化水素 [JIS C 0092]	温度 40±2℃, 相対湿度 80±5%, 濃度 10~15ppmに, 96時間放置する。			○	-
	はんだ付け性	はんだ温度 235±5℃, 浸せき時間 2±0.5秒間のはんだ付けを行う。		はんだ浸せき面の95%以上が新しいはんだでぬれていること。	○	-
はんだ耐熱性	1) リフローの場合 ヒート温度 250℃MAX リフロー部温度 230℃以上 60秒以内 2) はんだこての場合 350±10℃ 5±1秒間	外観の変形, 及び端子などに著しいがたがないこと。	○	-		
△の数	訂正記事		設計	検図	年月日	
△	DIS-F-001578(C)		YH. KOTANI	NM. NISHIMATSU	07.01.22	
備考	試験規格の記載のない試験方法はJIS C 5402を適用している。			承認	MO. ISHIDA	06.02.02
注	本品のロック方式は, フリップロック(回転ワッパ構造)であり, FPCに垂直方向の荷重が加わる場合は, FPCを固定してご使用願います。			検 図	NM. NISHIMATSU	06.02.02
				担 当	YH. KOTANI	06.02.02
				製 図	YH. KOTANI	06.02.02
注	QT: 確認試験 AT: 製品検査 ○: 適用項目		図番	SLC4-156169-10		
<b>HRS</b>	製品規格表		製品名	FH33-**S-0.5SH(10)		
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL580	△ 1/1	